

Boys

Doubles

優勝



高橋徹・一ノ瀬拓巳(青森山田中)
「積極的に攻められたので優勝できました」と最後まで攻撃の手を緩めなかった



準優勝

及川瑞基・三部航平(青森山田中)
台上レシーブなどで攻めたが、惜しくも敗れる

14 under age

三部航平(青森山田中) 優勝

完成度の高い両ハンド攻撃を展開。ミスが少なく、昨年のリベンジを果たす



準優勝

及川瑞基(青森山田中)
積極的な台上攻撃とフォアドライブを見せた



3位

高取侑史(野田学園)
打点の早いバックハンド攻撃がよかった



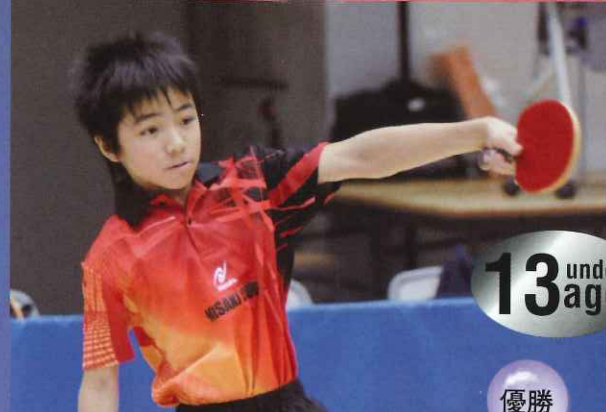
3位

碓塚将人(エリートアカデミー)
回転量の多い両ハンド攻撃をみせる



3位

出雲卓斗(鳥屋クラブジュニア)
安定した攻撃で地元の声援を受け活躍



13 under age

優勝

木造勇人(美崎クラブ)
「バックハンドを振れるように練習してきました」と夏の大会よりレベルアップ。これからの活躍にも期待



準優勝

松山祐季(愛工大附中)
豪快な攻撃を軸に決勝に進出。あと一步の所で優勝を逃した



3位

三上貴弘(マイダス)
パワフルな両ハンド攻撃をみせた

平成23年度 全日本選手権

11月18~20日
石川県いしかわ総合スポーツセンター

Cadet カデットの部

平成23年度全日本選手権大会(カデットの部)が、11月18~20日まで、石川県いしかわ総合スポーツセンターで行われた。
男子単14歳以下は、昨年の13歳以下決勝と同じ顔合わせの三部航平対及川瑞基(以上青森山田)の対戦となったが、安定した両ハンドプレーで得点を重ねた三部が優勝、昨年のリベンジを果たした。
敗れたものの及川は、スケールの大きいプレーが魅力的であった。
ベスト4には、高取(野田学園)、碓塚(エリートアカデミー)が入った。
男子13歳以下は、小学生の木造勇人(美崎クラブ)が群を抜くボールタッチからのカウンタープレーと積極的な攻撃で、松山祐季(愛工大附中)をゲームオールの末に下し優勝した。

惜しくも敗れた松山は、バックハンドに魅力のある選手。ベスト4には、三上(マイダス)と出雲(鳥屋クラブジュニア)が入った。
女子単14歳以下は、今年の全中を優勝している平真由香(Shochi Jr)がバックハンド攻撃を軸に優勝。準優勝は、平と激戦を演じた奥下茜里(就実)で、ベスト4には、佐藤(尾札部)と塩谷(ラブオールJr)が入った。
女子13歳以下は、平野美宇(ミキハウスJSC山梨)と伊藤美誠(豊田町スポ少)の小学生同士が決勝で対戦。回転のかかった両ハンド攻撃を軸に得点をあげた平野が優勝した。
伊藤は敗れたものの、威力のあるバックハンドやフォアハンドのスマッシュ攻撃が冴えていた。ベスト4には、馬場(小浜クラブJr)と小

脇(明徳義塾)が入った。
男子複は、青森山田の同士打ちとなり、高橋徹・一ノ瀬拓巳が及川・三部組を下し優勝。「思い切った攻められたのでそこが良かったです」(高橋)。
及川・三部組は、チームワークが光っていた。ベスト4には、高取・遠藤(野田学園)と羽佳・沼村(青森山田・東北卓心会スポ少)が入った。
女子複決勝は、平真由香・川北美礼(Shochi Jr)と石田葵・平塚叶梨(ミキハウスJSC)が決勝で対戦。平・川北組が0-2の劣勢から挽回、優勝を飾った。
石田・平塚組は敗れたものの、サーブ、フォアハンド攻撃が良かった。ベスト4には、三條・田中(ミキハウスJSC・王子クラブ)と松井・宇田(横浜隼人)が入った。

Girls

Doubles

優勝



平真由香・川北美礼(Shochi Jr)
「決勝は劣勢の中、お互いを信じてプレーしました」と大逆転劇で優勝



準優勝

石田葵・平塚叶梨(ミキハウスJSC)
変化のわかりにくいサーブと思いきったドライブをみせた

14 under age

優勝 平真由香(Shochi Jr)

決勝は接戦になるも、全中優勝の経験を生かし、得意のバックハンドで得点を重ねた



準優勝

奥下茜里(就実中)
フォア面の表ソフトラバーで、思い切ったスマッシュ攻撃をみせ、平を苦しめた



3位

佐藤瞳(尾札部中)
守備範囲の広いカットと、攻撃を披露



3位

塩谷真由(ラブオールJr)
ミスの少ない攻撃で初の全国入賞を達成



3位

馬場麻裕(小浜クラブJr)
ロングサーブからの速攻プレーが光った

13 under age

優勝

平野美宇(ミキハウスJSC山梨)
回転量の多い力強いドライブを軸に戦い、嬉しい優勝



準優勝

伊藤美誠(豊田町スポ少)
両ハンドのスマッシュが随所で決まった



3位

小脇瑞穂(明徳義塾)
粘り強いプレーで嬉しい入賞

